

あいち産業科学 技術総合センター ニュース

No. 218 (2020年5月20日発行)

(編集・発行)
あいち産業科学技術総合センター
〒470-0356
豊田市八草町秋合 1267-1
電話: 0561-76-8301 FAX: 0561-76-8304
URL: <http://www.aichi-inst.jp/>
E-mail: acist@pref.aichi.lg.jp



月号

☆今月の内容

- トピックス&お知らせ
 - ・産業技術センター職員が学位（工学博士）を取得しました
- 技術紹介
 - ・顕微鏡画像からの炭素繊維の配向評価について
 - ・IoT 技術の基礎について
 - ・酵母の冷蔵とたんぱく質系統樹の変化について

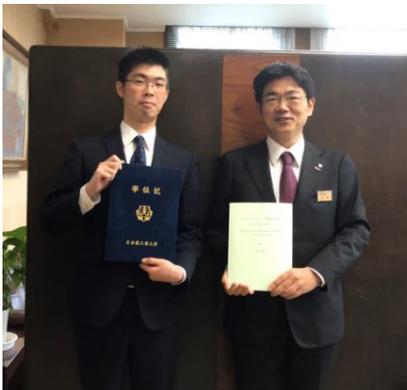
《トピックス&お知らせ》

◆ 産業技術センター職員が学位（工学博士）を取得しました

産業技術センター瀬戸窯業試験場の高橋直哉技師が、3年間の課程を修了し、学位論文「セラミックファイバーの高温耐久性の向上に関する研究」を提出して名古屋工業大学より工学博士の学位を授与されました。

リフラクトリーセラミックファイバー（RCF）等の非晶質無機繊維から成る製品は、耐火断熱材として広く用いられています。しかし 1000℃を超える高温環境下では結晶化して収縮し、破損や剥落を起こすために長期間の使用には向きません。そこで学位論文の研究では、アルミナ等のセラミック粒子を含むスラリーを用いてセラミックファイバー製品を処理し、加熱時の収縮を抑制する新規手法の開発に取り組みました。

上述の研究は「知の拠点あいち重点プロジェクトⅡ期」の支援を受け、プロジェクト M2「窯業競争力向上のためのセラミックス焼成収縮・変形の解明」の一環として行われました。現在、産業技術センターおよび産業技術センター瀬戸窯業試験場に設置されている「重点研究プロジェクト（Ⅱ期）成果活用プラザ」により、この成果についてプロジェクト参加企業の事業化支援と地域企業への技術移転を推進しています。



高橋技師（左）と伊藤経済産業局長（右）



スラリー処理によるセラミックファイバー製品の加熱収縮抑制

●問合せ先 産業技術センター瀬戸窯業試験場 電話：0561-21-2116